明るい選挙広報紙

しろばら

VOL 133
令和７年３月発行

私たちの一票で未来が変わる

選挙人名簿登録者数

○阿久根市	15,757 人
○出 水 市	42,307 人
○長 島 町	7,818 人

令和６年12月１日現在

GREEN PRINTING JPPI P-810284
この印刷物は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

～ あの街、この町、話題・わだい・ワダイ ～

地域の力で介護予防 ころばん体操10周年

阿久根市

地域が主体となって介護予防のために取り組んでいる「ころばん体操」教室の活動が、今年10周年を迎えます。

令和７年１月末現在、54地区、873人が参加しており、10月には記念大会を開催予定です。興味のある方、参加してみたい方は、ぜひご相談ください。

◆問合せ先
地域包括支援センター
電話 73-1272

出水市ツル博物館 クレインパークいずみ

出 水 市

ツルを代表とする出水の自然資料を収集・保管・展示している学びの場であるほか、敷地内には四季折々の花や木が植えられており、子供が遊べる遊具なども設置されています。

また、バンダイナムコグループから寄贈された「ガンダムマンホール」が昨年５月から設置されています。

◆問合せ先
電話 63-8915

城川内ふれあいパーク

長 島 町

国道389号沿いの「城川内ふれあいパーク」は、夕日がとてもきれいに見える場所に整備され、ハートのモニュメントが特徴的で、ハートの中に夕日を入れて撮影するのがおすすめ。フォトスポットだけでなく、休憩スペースとしても利用でき、長島の魅力がたくさん感じられる場所です。

◆問合せ先
水産景観課
電話 86-1137

【今後予定されている選挙】

投票に行こう！

- ○参議院議員通常選挙　令和7年7月28日任期満了
- ○出水市長選挙及び出水市議会議員選挙　令和8年4月22日任期満了
- ○長島町長選挙及び長島町議会議員選挙　令和8年4月22日任期満了

編集・発行　鹿児島県明るい選挙推進協議会出水支会

政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることも、有権者が政治家に対して贈り物を求めることも法律で禁止されています。
寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

【徹底しよう！！　三ない運動】

＜寄附禁止の対象例＞

お歳暮・お年賀

病気見舞

入学・卒業祝

お祭りへの寄附や差入

町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入

地域の運動会やスポーツ大会への飲食物等の差入

葬儀の花輪・供花

落成式や開店祝等の花輪

結婚祝※

香典※

※政治家本人が結婚披露宴、葬式等に出席し、自らその場で行う場合は、寄附禁止の適用外となる場合があります。

出典：総務省ＨＰ(https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html) より

投票日に用事等がある方は、これらの投票を利用しましょう

期日前投票

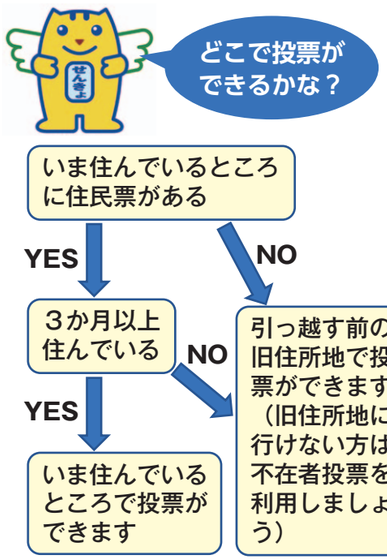
投票日当日に仕事や旅行、冠婚葬祭などを予定している方や、病気、悪天候等により当日投票できない方は、期日前投票をすることができます。

期日前投票の期間は、選挙の公示又は告示の日の翌日から投票日の前日までです。

不在者投票

選挙期間中に選挙人名簿の登録地以外に滞在していたり、病院に入院している方は、不在者投票の手続きをすれば滞在先で投票することができます。

4月は異動の時期です。転入・転出をされる方は、住民票の手続きを忘れないようにしましょう。



ポスターで明るい選挙を呼びかけ

～令和６年度明るい選挙啓発ポスターコンクール～

令和６年度明るい選挙啓発ポスターコンクールにおいて、出水支会内から出水市立高尾野小学校の野﨑芽依さん（６年）が見事、入選いたしました。

同コンクールは、選挙が明るく正しく行われるように、全国の児童、生徒の皆さんに明るい選挙を呼びかける印象的なポスターを描いてもらおうと毎年実施されているものです。

なお、本年度は県内で６５０点の応募があり、その中から37点が入選作品に選定されました。

【県入選】出水市立高尾野小学校　６年　野﨑（のざき）　芽依（めい）

若者の投票が与える影響

10代から30代の若者の投票率が低いと言われています。この背景にはどんな理由があるのでしょう。そして、10代から30代の若者が選挙に行くことでどのような政治の変化につながるのでしょうか。

私は、若者が選挙に行かないのは「選挙に興味がない」という理由だけではないと考えています。その理由として「自分一人の投票では政治を動かすことはできない」「投票したいと思う政党がない」などの意見があります。一人の投票だけでは政治を動かすことはできません。しかし、自分が投票することで政治がより良いものになってほしいという思いは誰しもが持っていると思います。多くの若者が投票し、その投票が積み重なることで政治を動かす力になるのではないでしょうか。

自分が投票したい政党や候補者がいない場合は白票を投票することで政治に参加できます。白票は政党や候補者の得票率には直接関係ありませんが、投票率には反映されます。投票したい政党や候補者がいないからといって投票に行かないよりも、白票を投票するほうが今後の政治に影響を与えることが出来ると私は考えています。

現在の選挙では50代、60代の投票率が高くなっています。政党や候補者は投票率の高い年代に目を向けてこれからの政策を考える傾向にあるため、現在は社会保障や年金問題など、50代、60代向けの政策に力を入れている政党が多いように感じます。このことから私は、若者の投票率が上がると若者向けの政策に力を入れる政党や候補者が増えると考えています。

若者だけに限らず投票率は減少傾向にあります。投票は住民が政治に参加するための手段です。私たち住民にとって過ごしやすいと思える政治環境を保つためにも、投票に行くことで積極的に政治に参加していきましょう。

平野 心胡和
（出水市）